

【専攻(分野)別提出書類等一覧】

言語情報科学専攻

対象者	提出書類	書式及び部数
一般出願者	論文と論文要旨	『論文』 ・修士の学位論文又はこれに代わるもの3部(すべてコピーでよい)。 『論文要旨』 ・日本語の場合は、4,000字以内のものを3部、外国語の場合は、2,000語以内のものを3部。いずれもA4判用紙を用いること。
	研究業績一覧	・参考資料として上記論文以外の研究業績の添付を希望する者は、その業績各3部(コピーでよい)を提出すること。その際、A4判用紙で、各論文を2、3行程度で説明した研究業績一覧を3部付すこと。
	研究計画書	・入学後の研究計画書(1,600字程度。A4判用紙を用いること。)を3部。
社会人特別選抜出願者	論文と論文要旨	『論文』 ・修士の学位論文又はこれに代わるもの3部(すべてコピーでよい)。 『論文要旨』 ・日本語の場合は、4,000字以内のものを3部、外国語の場合は、2,000語以内のものを3部。いずれもA4判用紙を用いること。
	研究業績一覧	・参考資料として上記論文以外の研究業績の添付を希望する者は、その業績各3部(コピーでよい)を提出すること。その際、A4判用紙で、各論文を2、3行程度で説明した研究業績一覧を3部付すこと。
	これまでの社会的活動と今後の計画	・1,600字程度でまとめたものを3部。A4判用紙を用いること。
外国人出願者	論文と論文要旨	『論文』 ・修士の学位論文又はこれに代わるもの3部(すべてコピーでよい)。 『論文要旨』 ・日本語の場合は、4,000字以内のものを3部、外国語の場合は、2,000語以内のものを3部。いずれもA4判用紙を用いること。
	研究業績一覧	・参考資料として上記論文以外の研究業績の添付を希望する者は、その業績各3部(コピーでよい)を提出すること。その際、A4判用紙で、各論文を2、3行程度で説明した研究業績一覧を3部付すこと。
	研究計画書	・入学後の研究計画書(1,600字程度。A4判用紙を用いること。)を3部。
	日本語能力証明書	・所定の用紙に日本語の指導教授、又はこれに準ずる者が記入したもの1部。 ・外国人日本語能力試験に合格している者は、日本語能力認定書のコピー1部を提出すること。 ・日本の大学を卒業した者及び日本の大学院を修了した者又は修了見込みの者は、提出不要。

超域文化科学(表象文化論)専攻

対象者	提出書類	書式及び部数
一般出願者	論文と論文要旨	『論文』 ・修士の学位論文又はこれに代わるもの3部(すべてコピーでよい)。 『論文要旨』 ・論文要旨は日本語とする。上記論文が日本語の場合は、A4判用紙4,000字程度のものを3部、外国語の場合は、A4判用紙12,000字程度のものを3部。
	研究業績一覧	・研究業績のある者は、各々の業績について2、3行の内容説明を付した業績一覧(A4判用紙で作成したもの)を3部提出すること。
	研究計画書	・入学後の研究計画を具体的に日本語で述べたもの(A4判用紙1,600字程度)を3部。
社会人特別選拔出願者	論文と論文要旨	『論文』 ・修士の学位論文又はこれに代わるもの3部(すべてコピーでよい)。 『論文要旨』 ・論文要旨は日本語とする。上記論文が日本語の場合は、A4判用紙4,000字程度のものを3部、外国語の場合は、A4判用紙12,000字程度のものを3部。
	研究業績一覧	・研究業績のある者は、各々の業績について2、3行の内容説明を付した業績一覧(A4判用紙で作成したもの)を3部提出すること。
	これまでの社会的活動と今後の計画	・A4判用紙に日本語で2,000字程度にまとめたものを3部。 ・入学後の研究計画についてもふれること。
外国人出願者	論文と論文要旨	『論文』 ・修士の学位論文又はこれに代わるもの3部(すべてコピーでよい)。 『論文要旨』 ・論文要旨は日本語とする。上記論文が日本語の場合は、A4判用紙4,000字程度のものを3部、外国語の場合は、A4判用紙12,000字程度のものを3部。
	研究業績一覧	・研究業績のある者は、各々の業績について2、3行の内容説明を付した業績一覧(A4判用紙で作成したもの)を3部提出すること。
	研究計画書	・入学後の研究計画を具体的に日本語で述べたもの(A4判用紙1,600字程度)を3部。
	日本語能力証明書	・所定の用紙に日本語の指導教授、又はこれに準ずる者が記入したもの1部。 ・外国人日本語能力試験に合格している者は、日本語能力認定書のコピー1部を提出すること。 ・日本の大学を卒業した者及び日本の大学院を修了した者又は修了見込みの者は、提出不要。

超域文化科学(文化人類学)専攻

対象者	提出書類	書式及び部数
一般出願者	論文と論文要旨	『論文』 ・修士の学位論文又はこれに代わるもの3部(すべてコピーでよい)。ただし、論文が英語以外の外国語の場合、日本語による全訳のみを3部提出すること。 『論文要旨』 ・提出論文が日本語(あるいは日本語全訳)の場合は、A4判用紙4,000字以内のものを3部、英語の場合は、A4判用紙1,000語以内のものを3部。
	研究業績一覧	・研究業績のある者は、提出論文各3部にA4判用紙で2、3行の内容説明を付すこと。
	研究計画書	・博士課程入進学後の研究計画書を日本語あるいは英語でA4判用紙(片面)1枚にまとめたものを3部提出すること。なお、書式は特に指定しない。
社会人特別選拔出願者	論文と論文要旨	『論文』 ・修士の学位論文又はこれに代わるもの3部(すべてコピーでよい)。ただし、論文が英語以外の外国語の場合、日本語による全訳のみを3部提出すること。 『論文要旨』 ・提出論文が日本語(あるいは日本語全訳)の場合は、A4判用紙4,000字以内のものを3部、英語の場合は、A4判用紙1,000語以内のものを3部。
	研究業績一覧	・研究業績のある者は、提出論文各3部にA4判用紙で2、3行の内容説明を付すこと。
	これまでの社会的活動と今後の計画	・これまでの社会的活動をふまえて博士課程入進学後の研究計画を日本語あるいは英語でA4判用紙(片面)1枚にまとめたものを3部提出すること。なお、書式はとくに指定しない。
外国人出願者	論文と論文要旨	『論文』 ・修士の学位論文又はこれに代わるもの3部(すべてコピーでよい)。ただし、論文が英語以外の外国語の場合、日本語による全訳のみを3部提出すること。 『論文要旨』 ・提出論文が日本語(あるいは日本語全訳)の場合は、A4判用紙4,000字以内のものを3部、英語の場合は、A4判用紙1,000語以内のものを3部。
	研究業績一覧	・研究業績のある者は、提出論文各3部にA4判用紙で2、3行の内容説明を付すこと。
	研究計画書	・博士課程入進学後の研究計画書を日本語あるいは英語でA4判用紙(片面)1枚にまとめたものを3部提出すること。なお、書式は特に指定しない。
	日本語能力証明書	・所定の用紙に日本語の指導教授、又はこれに準ずる者が記入したもの1部。 ・外国人日本語能力試験に合格している者は、日本語能力認定書のコピー1部を提出すること。 ・日本の大学を卒業した者及び日本の大学院を修了した者又は修了見込みの者は、提出不要。

超域文化科学(比較文学比較文化)専攻

※添付票の不足分については、各自でコピーしてください。

対象者	提出書類	書式及び部数
一般出願者	論文と論文要旨	『論文』 ・修士の学位論文又はこれに代わるもの1点を5部(すべてコピーでよい)。ただし、日本語で執筆し、論文の分量は70,000字を目安とする(ワードプロセッサの「文字カウント機能」で、スペースを含む文字数が55,000~90,000字の範囲とする)。 『論文要旨』 ・外国語(母語以外の言語)によるもの。欧文の場合、A4判用紙に2,000語程度のものを5部。
	研究業績一覧	・上記の論文のほかに研究業績のある者は、業績表をA4判用紙に作成し、各々の業績について2、3行の内容説明を付したものを5部提出すること。
	研究計画書	・入学後の研究計画を具体的に述べた「研究計画書」を5部提出すること。日本語で、A4判用紙を使用し、1,200字程度とする。
社会人特別選拔出願者	論文と論文要旨	『論文』 ・修士の学位論文又はこれに代わるもの1点を5部(すべてコピーでよい)。ただし、日本語で執筆し、論文の分量は70,000字を目安とする(ワードプロセッサの「文字カウント機能」で、スペースを含む文字数が55,000~90,000字の範囲とする)。 『論文要旨』 ・外国語(母語以外の言語)によるもの。欧文の場合、A4判用紙に2,000語程度のものを5部。
	研究業績一覧	・上記の論文のほかに研究業績のある者は、業績表をA4判用紙に作成し、各々の業績について2、3行の内容説明を付したものを5部提出すること。
	これまでの社会的活動と今後の計画	・日本語で、A4判用紙に1,200字程度にまとめたものを5部。
外国人出願者	論文と論文要旨	『論文』 ・修士の学位論文又はこれに代わるもの1点を5部(すべてコピーでよい)。ただし、日本語で執筆し、論文の分量は70,000字を目安とする(ワードプロセッサの「文字カウント機能」で、スペースを含む文字数が55,000~90,000字の範囲とする)。 『論文要旨』 ・日本語で、A4判用紙に4,000字程度のものを5部。
	研究業績一覧	・上記の論文のほかに研究業績のある者は、業績表をA4判用紙に作成し、各々の業績について2、3行の内容説明を付したものを5部提出すること。
	研究計画書	・入学後の研究計画を具体的に述べた「研究計画書」を5部提出すること。日本語で、A4判用紙を使用し、1,200字程度とする。
	日本語能力証明書	・所定の用紙に日本語の指導教授、又はこれに準ずる者が記入したもの1部。 ・外国人日本語能力試験に合格している者は、日本語能力認定書のコピー1部を提出すること。 ・日本の大学を卒業した者及び日本の大学院を修了した者又は修了見込みの者は、提出不要。

地域文化研究専攻

対象者	提出書類	書式及び部数
一般出願者	論文と論文要旨	『論文』 ・修士の学位論文又はこれに代わると本人が判断するもの1点を3部(すべてコピーでよい)。ただし、論文が英語、フランス語、ドイツ語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、アラビア語以外の外国語の場合、日本語による全訳を3部提出すること。なお、論文の内容は入学後の研究主題と関連していることが望ましい。 『論文要旨』 (1)日本語でA4判用紙4,000字以内のものを3部提出すること。 (2)論文が日本語の場合、さらに(1)の論文要旨と同内容の要旨をA4判用紙で日本語以外の言語でも作成し、3部提出すること。
	研究業績一覧	・参考資料として上記論文以外の研究業績の添付を希望する者は、その業績各3部(コピーでよい)を提出すること。その際、A4判用紙で、各論文を2、3行程度で説明した研究業績一覧を3部付すこと。
	研究計画書	・入学後の研究計画書(A4判用紙、日本語で1,600字程度でまとめたもの)を3部。
社会人特別選拔出願者	論文と論文要旨	『論文』 ・修士の学位論文又はこれに代わると本人が判断するもの1点を3部(すべてコピーでよい)。ただし、論文が英語、フランス語、ドイツ語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、アラビア語以外の外国語の場合、日本語による全訳を3部提出すること。なお、論文の内容は入学後の研究主題と関連していることが望ましい。 『論文要旨』 (1)日本語でA4判用紙4,000字以内のものを3部提出すること。 (2)論文が日本語の場合、さらに(1)の論文要旨と同内容の要旨をA4判用紙で日本語以外の言語でも作成し、3部提出すること。
	研究業績一覧	・参考資料として上記論文以外の研究業績の添付を希望する者は、その業績各3部(コピーでよい)を提出すること。その際、A4判用紙で、各論文を2、3行程度で説明した研究業績一覧を3部付すこと。
	これまでの社会的活動と今後の計画	・A4判用紙に日本語で1,600字程度でまとめたものを3部。
外国人出願者	論文と論文要旨	『論文』 ・修士の学位論文又はこれに代わると本人が判断するもの1点を3部(すべてコピーでよい)。ただし、論文が英語、フランス語、ドイツ語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、アラビア語以外の外国語の場合、日本語による全訳を3部提出すること。なお、論文の内容は入学後の研究主題と関連していることが望ましい。 『論文要旨』 (1)日本語でA4判用紙4,000字以内のものを3部提出すること。 (2)論文が日本語の場合、さらに(1)の論文要旨と同内容の要旨をA4判用紙で日本語以外の言語でも作成し、3部提出すること。
	研究業績一覧	・参考資料として上記論文以外の研究業績の添付を希望する者は、その業績各3部(コピーでよい)を提出すること。その際、A4判用紙で、各論文を2、3行程度で説明した研究業績一覧を3部付すこと。
	研究計画書	・入学後の研究計画書(A4判用紙、日本語で1,600字程度でまとめたもの)を3部。
	日本語能力証明書	・所定の用紙に日本語の指導教授、又はこれに準ずる者が記入したもの1部。 ・外国人日本語能力試験に合格している者は、日本語能力認定書のコピー1部を提出すること。 ・日本の大学を卒業した者及び日本の大学院を修了した者又は修了見込みの者は、提出不要。

※なお、口述試験の際に、提出論文の内容と入学後の研究計画を、最初の5分間で要約して述べることが求められる。

国際社会科学専攻

対象者	提出書類	書式及び部数
一般出願者	論文と論文要旨	『論文』 ・修士の学位論文又はこれに代わるもの3部(すべてコピーでよい)。ただし、論文が日本語又は英語以外の言語で書かれている場合は、日本語又は英語による全訳を添えること。 『論文要旨』 ・論文が日本語の場合は、A4判用紙に4,000字以内でまとめたものを3部、外国語の場合も、日本語でA4判用紙に4,000字以内でまとめたものを3部。
	研究業績一覧	・研究業績のある者は、業績表をA4判用紙に作成し、各々の業績について2、3行の内容説明を付したものを3部。
	研究計画書	・入学後の研究計画書(日本語でA4判用紙に1,600字程度でまとめたもの)を3部。
社会人特別選拔出願者	論文と論文要旨	『論文』 ・修士の学位論文又はこれに代わるもの3部(すべてコピーでよい)。ただし、論文が日本語又は英語以外の言語で書かれている場合は、日本語又は英語による全訳を添えること。 『論文要旨』 ・論文が日本語の場合は、A4判用紙に4,000字以内でまとめたものを3部、外国語の場合も、日本語でA4判用紙に4,000字以内でまとめたものを3部。
	研究業績一覧	・研究業績のある者は、業績表をA4判用紙に作成し、各々の業績について2、3行の内容説明を付したものを3部。
	これまでの社会的活動と今後の計画	・日本語でA4判用紙に1,600字程度でまとめたものを3部。
外国人出願者	論文と論文要旨	『論文』 ・修士の学位論文又はこれに代わるもの3部(すべてコピーでよい)。ただし、論文が日本語又は英語以外の言語で書かれている場合は、日本語又は英語による全訳を添えること。 『論文要旨』 ・論文が日本語の場合は、A4判用紙に4,000字以内でまとめたものを3部、外国語の場合も、日本語でA4判用紙に4,000字以内でまとめたものを3部。
	研究業績一覧	・研究業績のある者は、業績表をA4判用紙に作成し、各々の業績について2、3行の内容説明を付したものを3部。
	研究計画書	・入学後の研究計画書(日本語でA4判用紙に1,600字程度でまとめたもの)を3部。
	日本語能力証明書	・所定の用紙に日本語の指導教授、又はこれに準ずる者が記入したもの1部。 ・外国人日本語能力試験に合格している者は、日本語能力認定書のコピー1部を提出すること。 ・日本の大学を卒業した者及び日本の大学院を修了した者又は修了見込みの者は、提出不要。